

教科(科目)	家庭基礎	単位数	2	学年(コース)	1年 普通科
使用教科書	東京書籍「家庭基礎 自立・共生・創造」				
副教材等	第一学習社「最新 生活ハンドブック 資料&成分表」				

1 学習目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 指導の重点

私たちの生活に関連するさまざまな分野の学習を通して、視野を広げ、柔軟な考え方を身につけ、これからの人生を「よりよく生き抜く力」をつけることを目指します。また、生活技術の定着を図るため、できるだけ多くの実習・体験を取り入れていきます。

3 学習計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時数	評価方法
4	自分らしい人生をつくる	教科書 副教材 ワークシート	1. 生涯発達の視点 2. 青年期の課題 3. 人生をつくる 4. 家族・家庭をみつめる	○これからの人生を充実したものとするために、自分自身を見つめるとともに、人は一生の間どのように変化していくのかを理解し、これからの「自分」について考える。 ○家族・家庭をさまざまな面から見つめ、自分がこれからつくる家族・家庭について考える。	8	授業への取り組み 定期考査 授業ファイル
5	子どもと共に育つ		1. 子どもの育つ力を知る 2. 親として共に育つ 3. これからの保育環境	○子どもの成長・発達の特徴を知り、子どもの成長のすばらしさや親の関わりの重要性を考える。 ○子どもの人権や、すこやかに育つための環境、社会、福祉のありかたについて考える。	6	レポート 作品製作
6・7	衣生活をつくる		1. 被服の役割を考える 2. 被服を購入する 3. 被服を管理する 4. 被服製作	○現在の衣生活を振り返り、被服の果たす役割や被服を着る意義を確認する。 ○被服材料の性質や適切な管理のしかたを学ぶ。 ○基礎縫いやミシン縫いを学び、作品完成の達成感を味わう。	14	
9	高齢社会を生きる		1. 高齢期を理解する 2. 高齢者の心身の特徴 3. これからの高齢社会	○高齢者の心身の特徴について理解を深め、日本の高齢社会の特徴や年金、介護保険制度について学ぶ。	8	
10・11・12	共に生き、共に支える		1. 共に生きる 2. 社会保障の考え方	○いろいろな人たちとの関わり合いのなかで、ともに支え合える家庭、地域、社会とはどのようなものか考える。 ○日本の社会保障の制度について学ぶ。	3	
	食生活をつくる		1. 食生活について考える 2. 食事と栄養・食品 3. 食生活の安全と衛生 4. 生涯の健康を見通した食事計画 5. 調理の基礎	○食事の役割を理解し、現代の食生活の問題点を知る。 ○栄養素の種類と働きや、各種の栄養素を含む食品と調理性を学び、日々の食生活にいかすとともに、一日の栄養素や食事の適量を理解する。 ○適切な食品の取り扱いかたや安全確保のしくみについて学ぶ。 ○食事計画や配膳、食事のマナーについても理解を深める。 ○調理の基礎を身につけ、調理技術の定着を図る。	20	

1	経済生活を営む	1. 計画的に使う 2. 消費行動と意思決定 3. 現代の消費社会 4. これからの消費生活と環境	○家庭、社会のなかでのお金の流れを理解するとともに、自分や家族にとって有効な使い方について考える。 ○現在起きている消費生活上の問題とその対策、これからの消費生活の課題を考える。 ○主体的な消費行動をめざして、消費者である私たち一人ひとりが役割を自覚し、適切な意志決定のもと、よりよい消費行動をめざす。	6
2・3	住生活をつくる	1. 住生活について考える 2. 住生活の計画と選択 3. これからの住生活	○自分の住生活を見つめ直し、自分や家族にとって居心地のよい住まいの環境や住まい方について考える。	5

4 課題・提出物等

授業時にワークシート等の課題があり、定期考査ごとに授業ファイルの提出もあります。毎時間ごとの積み重ねを大切に着実に力を付けていきましょう。

5 評価規準と評価方法

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点・規準	家庭や地域の生活について関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	家庭や地域の生活について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身につけている。	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身につけている。	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	・学習活動への参加状況 ・提出物の内容 ・発問に対する発言内容	・学習活動への参加状況 ・提出物の内容 ・発問に対する発言内容 ・定期考査	・実習、作業時の取り組みの状況 ・提出物の内容	・学習活動への参加状況 ・提出物の内容 ・発問に対する発言内容 ・定期考査

以上の観点を踏まえ、総合的に評価します。

6 担当者からの一言

生活の自立に必要な知識や技能を身につけるだけでなく、さまざまな体験や情報を元に、視野を広げ、自己の可能性を広げられるような有意義な時間になるよう、精一杯授業を作っていくつもりです。みなさんも自分自身を高めるつもりで1年間、積極的に取り組んでくれることを期待します。